學學學學 12月27~25日 支後きニュースの

定断語語者になって下さい。〇年由千四)同對張替用纸料用で送金をリートモダイにも紹介しよう。

个又神能集· 宮文 知里幸惠 という幸福な人産であったでしょうシへア 活していた彼等は、真に自然の難児、なん でありました。天真順爆な権児の様に美し なる。恥ずかしい話ではないか。今その音 こんな色の海を見るのは初めてだ。(やっぱ し大自然に抱握されてのんびりと楽しく生 ペ日本》がアイヌモシリを占領して百年に ないけれど北海道を旅するのは気が重い リ外層だな)と改めて思う・観光旅行では いた。連絡船のデッキから見る海は組色で この広い北海道は私産の先祖の自由の天地 12月21日の午後。僕は津野海峡を渡って

かんできらりへ大 気のか さしい《京田 ゲイ号の機体を想い起ことせる。 射して銀色に輝く煙突は、ビロシマに災いをもたらしたエノラ

粉碎

竹さしい大条称さん

のハラハラ集団に四百五十人が集った帯。その後もへ支援連ニュ ース読者の好〉を作って、30名余」が、日を続けていること・大 12月22日の朝9時半。札幌拘置所で大茶勝久さんに伝う。大阪

中は一杯だろうに。そんな時でも将司さんの安否を見過う彼の心 事をしきりに心配していた。明日へ3日)からの意見原述で頭の 森さんの事を優らはいつも考えている事を伝えた。 根に、胸が締めつけられる。 勝久ごんは、東京指電所の大塩三谷司さんの身体の長台が悪い

が、裁判の放り行きを楽観しているわけではない。同情の裁判 七無罪判決しかないと思うのですが…。殺されたくないですよ。 も、国家がやるものだから油町はできません。ブル裁判に従って 少しても長く生きて、安と一緒に生きて活動しておりたい・一回 しがない人生ですから。山・絶望しずぎる事もなく、しかも空 しい希望に酔いしれることもない。人間―それが大森勝久さん 6年旬の均置生活にも分かりらず、大本とんは元気一杯だった

音思見 陳地 弁護士の最終 大大城さんの だ。七川だけに、彼の元→ 12月23日。 気を変が、僕は切ない。

大地)を目茶苦茶にしたのが、今日の今北 るウレシパモシリヘ互いが互いに育てあう

カムイウタリへ自然の万物)と共に生

えたつ。巨大な工場郡は、そのままチッソ 室蘭や苫小牧王子製紙がきがきがしくそび 海道》ではおいか。道廟地域には、新日鉄

水俣工場とオーバーラップする。陽光を反

弁論に続いて、大

はるのしましただけいません

大照片的南南市、北北、東江、日日本

なさんの意見陳述が始った。由ロ一番《この歌判はデッチあげであるが、 私は道戸爆破を支持する》

甲大阪のフンイキをは、えるニュースを作はたいんだけたける。なっちゃったりではいてなるメモセとりたいるるのでした。しそできない。とにかくてつゆくとにまて下さい。特ってるより独を

の歴史だ。そんな日本になんの価値をない。》 る気が可る。《日本人は爆弾的争為とのヤリ方は好きなり。日本人は心情 ≪私は日本の全歴史――建国から現在までなる足する。日本国家の全歴史 しい。その心優しい日本人がアイヌモシリを侵略して平気でいる。少 大森ごんの考えば観燈的である、と批判される著もあるが、僕には的か

こと。うれしくやさしいこと。美しく元気なこと。よろこびが一杯にあふ 争を展開したばずだ。日本人をやめること。日本を裏切っていくずは、自 たはずだ。自由におおらかに生きて、侵略者=大和に対して重赦に反白の れること。そうでしょう?大森さん。 由で楽しい生をとりもどすことなのだ。《反日七詞》は、陽気で楽しい この語ではないか。僕らもその苦、大和に支配されずく頼らず)生きてい が響く。私産モデマは日本人ではながったーー目からうろこが落ちるとは 本と祖国と思っているだけのことだ。》法廷に勝久さんのいんとした声 ≪私達を元々日本人ではなかった。いつのまにか大和に同化させられ、日

あるさんの歌かとびだした。

ずっと緊張気味だったが出てんの大森和ささんも、勝くさんの自信がふれ 最高期に達した。そして、翌日25日。後ちは地方裁判所の前で置びルマを る意見陳述に徐々に元気づけられてきたようだった。コンサートの金中で お母さんの歌もとびだした。最後に民さんのへ移身ドンンでコンサートは 12月24日の夜。日本民さんのコンサートにけんなで集まった。22日から

> 作った。へ大森銀曜町プルマンとみんなで名付けた。(山河伸一郎・台) 東京京支接連の歌のででなる

けに、出席でれた方が別いとの事。読書気などをやりながら楽しく運動を やっていきたいと動していました。 発き種一本当にちょっとした出気 みなさん元気に大うかしやってはって、たぶんない私 にいかイベントなどぼちぼちやっていこうということです。 いから、運動が始ったどうです。「東マジア未来史研究虫」という名称で の支援報告・他各一一荒井まり子さんのお国なので、彼女の事をきっか 12月12日、約30人の製気ムンムンの中、仏教は参りました。まず、各地

など機々な意見が交錯して、非常にかもしろかったです。 魔止ぬ)との連絡について提起がなされました。反日思想を異響に受けと も、ガンバラナクッちゃい 的、反弾圧戦線と産帯してゆく度動体・反弾圧戦線の一翼としての屋動体 東京・支援連から他の弾圧とサラ運動へ刑法・保安部分・監督法、死刑

た批判・意見が出まして安心しました。 るのですね。当日のレジュメへ要約を、だしてもワイウイとこんがらがっ 東京の方も一つの考えに話とまってなくて、色んな人が集ってやっては

だからこそがおっぴらに権力のド肝を技く運動ができると思うのです。 と考えてるのですが、まじめだから暗いという思にはならない等。真面目 運動というと妙に暗い茶欲的なイメージがありままが、ちょっと違うと思 ハレンチにしという声がありまして、私、実に喜っとした次緒であります。 います。決して真面目が蔑いという姿では全弦なくて、真摯だやらにやあ 大阪からえへカンパで東京きで行かせてもらりました。(ハーラ) 一つ私的に変動した事といえば、まず運動のやり方の討論で、っもっと

はん、おいしかった。分十一日 10日文建造三大語者の公 の私と東アの方見の意味故を語る。

ありがとう・東京のみなさんにも包々気をつかってもらいました。お昼ご

11日の日、大人復志ニュー人・務着の公司に非常で下さい。それがとり、17は、四直後シスタスでした更な同じついて陽気に考えるは、スライドバを喰うパナナ上映し動り時神戸をおりよりースケールが内